

伊藤 敬治（いとうけいじ）氏

卒業年：平成 21 年 3 月 専攻：農産 住所：北上市



1 現在の経営概要

水稲 24ha、作業受託 3ha、果樹（りんごなど）2ha

2 経営での担当部門、取組状況、経営の特徴など

水稲とりんごの複合経営ということで、1年を通して仕事があります。特に秋は水稲とりんごの作業が競合するため、品種の組み合わせなどにより作業の分散を図っています。

農大卒業後は、2年間農業研究センターで働きながら、稲作の技術を深めました。現在は、両親とともに水稲、りんごの作業全般を行っていますが、水稲は代掻き、籾摺りなどを主に担当しています。

このほか岩手県農村青年クラブ連絡協議会の事務局長として、行事の企画・運営やイベント対応などもこなしています。農村青年クラブでは、定期的な情報交換のほか現地研修や農産物直売などのイベント対応があり、活動を通して色々な人脈ができとても役に立っています。

3 就農しているなかでの苦勞、良かったこと

○ 農業は自然相手であり、安定した収量を確保することの難しさ、また、今のところ JA 出荷が中心ですが、米価も下がり気味で市場リスクもひしひしと感じます。

○ 就農して良かったことは、四季折々の大自然の中で作業ができる。マイペースで仕事ができる。作ったものをお客様から「美味しい」と言ってもらったときは、とてもうれしく、また、頑張ろうと思います。

4 農大での学生生活（役に立っていること、もっと勉強しておけばよかったこと、思い出など）

○ 学生時代の友人とは今でも仲良くしています。実習は大いに役立ちました。

○ 経営管理や機械操作についてはもっと勉強しておけば良かったと思います。

5 将来の夢、目標

担い手が減少している中で、自分たちだけがいいのではなく、地域のために役立つようになりたいと思います。

現在の経営に加えて新たな品目（加工用果樹、麻など）を導入したい。

6 在校生への激励メッセージ

農業を始めるにはこれからがチャンスです。そのための技術、知恵、仲間を農大で手にいれましょう。就農する前提で学ぶのならばもっと積極的に学習時間以外でも先生たちに話を聞いたほうが良いと思います。

7 HP、ブログ、Facebook の有無

Facebook に登録しています。また、岩手県農村青年クラブ連絡協議会の Facebook、ブログもありますので、そちらも見てください。



8 取材後記（取材職員記入）

バイクで走ることが趣味ですが、果樹園などの作業にもバイクでいくそうです。さっ爽としてカッコいいですね。農村青年クラブでは、

事務局長として一番忙しい役割を引き受けて、全体に目配りしながら縁の下の力持ちとして頑張っています。自分だけ良くなるのではなく、地域が良くなるように努力していきたいという、まさに宮沢賢治の精神で頑張っている爽やかでしっかりした青年でした。